

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター附属岩国看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 新木 一弘

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (3年課程)	看護学科	夜・通信	90単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/syllabus_plan.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構岩国医療センター附属岩国看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 新木 一弘

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	<p>学則第 43 条、学校の運営の円滑化及び適正化を図るために、学校運営会議を設ける。学校運営会議規程第 2 条において外部委員を設け、第 6 条に則り運営その他に関し、必要な事項は会議によって決定する。外部委員は、自らの経験を活かし社会や産業界のニーズを踏まえた意見を述べ運営に反映する。また、運営会議の審議事項は第 4 条に則り、次の事項について審議するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 学校の規程の制定改廃 二 学校予算の執行計画 三 教育課程の編成に関する事項 四 各年度の教育計画に関する事項 五 学校の講師、実習施設選定に関する事項 六 学生募集および入学に関する事項 七 学生の単位、卒業認定に関する事項 八 学生の休学、復学、退学に関する事項 九 転入学者の既習単位等の認定に関する事項 十 学校運営の評価に関する事項 十一 学校の施設設備に関する事項 十二 その他学校の運営に関し重要と認める事項

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
NHO 岩国医療センター看護部長	2025. 4. 1 ～2026. 3. 31	看護管理講師として講義を実施
NHO 岩国医療センター事務部長	2025. 4. 1 ～2026. 3. 31	特記なし
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター附属岩国看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 新木 一弘

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの実施状況について、各科目の内容、方法、進行について毎月カリキュラム委員会を開催し評価する。 ・毎年3月に学生による授業評価、講師による授業評価、テキストの改定内容や国家試験の出題基準をふまえて検討を行い、次年度の授業計画書(シラバス)、実習要綱を改定する。 ・シラバスには、科目名、単位数、担当講師名、到達目標、学習内容、学習方法、評価項目、評価方法を記載する。 ・実習要綱には、科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を記載する。 ・学生便覧に、成績評価の基準について記載する。(優：80点以上、良：70点から79点、可：60点から69点及び不可：60点未満とし、可以上を合格とする。) ・4月に学生便覧、授業計画書(シラバス)実習要綱を各学生に配布し、履修についての説明を行い、学校ホームページとインターネット経由での授業支援システム(Webclass)にシラバスを公表する 	
授業計画書の公表方法	https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/syllabus_plan.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の評価については、科目ごとに「客観的テスト」「レポート提出」「実技テスト」「出席状況」「演習参加度」「授業態度」「グループ/発表成果」等の評価方法および点数配分をシラバスに掲載している。 ・実技試験の結果は、評価会議で検討し、客観的な評価を行っている。 ・実習においては、実習評価表に評価項目およびルーブリック評価を用い臨床における実習指導者、当該実習場所の看護管理者、実習の担当教員で客観的な評価を行っている。 <p>2. 単位の認定、卒業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の認定は、学生便覧に記載している学則・学則細則に単位認定基準を掲載している。3年次は1月、1・2年次は2月に学校運営会議を開催し、単位の認定を行い、単位の修得状況について学生に通知している。 ・卒業は学則・学則細則に卒業の要件、判定について定め、1月の学校運営会議において卒業の認定を行っている。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の評価は、優(80点以上)、良(70点から79点)、可(60点から69点)及び不可(60点未満)とし、GPAの算定は100点～90点を4、89点～80点を3、79点～70点を2、69点～60点を1、60点未満を0として算定した。 ・GPAは、(履修登録した科目の単位数×当該科目のGP)の合計を履修登録した科目の単位数合計(不可を含む)で割り数値を成績管理システムにて自動計算して算出している。 ・各学年別でGPAを算出し人数の分布をヒストグラムで示している。ヒストグラムには下位1/4のGPAの数値を示し、ヒストグラムには赤ラインで示している。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/gpa.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1. ディプロマ・ポリシー</p> <p>岩国医療センター附属岩国看護学校で、次の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生命尊重と個々の人格が尊重できる感性豊かな人間性を養っている (2) 看護の対象を総合的に理解し、看護上の問題が解決できる能力を身につけている (3) 保健医療の立場から健康を守るための基礎的能力を身につけている (4) 看護の本質を理解して、自己の看護に対する考え方を明確できる (5) 看護の向上をめざし、自己啓発に努め、看護を探究する態度を身につけている (6) 保健医療チームの一員として、他職種と協働し、看護の役割を果たす基礎的能力を養っている (7) 国際的視野をもち、医療の最新知識・技術を自ら学び続ける姿勢を養っている (8) 独立行政法人国立病院機構に貢献し得る能力を養っている <p>2. 学則に定める卒業認定について</p> <p>学則第25条に則り、学校長は、学則第18条に定める全ての授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。また、卒業認定に関しては、学則細則第16条に則り、次の各号の全てを満たす場合に認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学校の定める授業科目、単位数を履修した者 2. 授業科目(臨地実習含む)の各々の単位を認定された者 3. 修業年限3年、または在学年限内の者 4. 出席日数が授業日数の3分の2以上の者 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/athorization_unit.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター附属岩国看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 新木 一弘

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nho.hosp.go.jp/files/000216074.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nho.hosp.go.jp/files/000216074.pdf
財産目録	
事業報告書	https://nho.hosp.go.jp/files/000216073.pdf
監事による監査報告（書）	https://nho.hosp.go.jp/files/000216074.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2925時間／104単位	1755時間/ 75単位	135時間/ 6単位	1035時間/ 23単位	0時間/ 0単位	0時間/ 0単位
	単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
240人		216人	0人	13人	131人	144人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの実施状況について、各科目の内容、方法、進行について毎月カリキュラム委員会を開催し評価する。 毎年3月に学生による授業評価、講師による授業評価、テキストの改定内容や国家試験の出題基準をふまえて検討を行い、次年度の授業計画書（シラバス）、実習要綱を改定する。 シラバスには、科目名、単位数、担当講師名、到達目標、学習内容、学習方法、評価項目、評価方法を記載する。 実習要綱には、科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を記載する。 学生便覧に、成績評価の基準について記載する。（優：80点以上、良：70点から79点、可：60点から69点及び不可：60点未満とし、可以上を合格とする。） 4月に学生便覧、授業計画書（シラバス）実習要綱を各学生に配布し、履修についての説明を行い、学校ホームページとインターネット経由での授業支援システム（Webclass）にシラバスを公表する

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>1. 評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の評価については、科目ごとに「客観的テスト」「レポート提出」「実技テスト」「出席状況」「演習参加度」「授業態度」「グループ／発表成果」等の評価方法および点数配分をシラバスに掲載している。 ・実技 試験の結果は、評価会議で検討し、客観的な評価を行っている。 ・実習においては、実習評価表に評価項目およびルーブリック評価を用い臨床における実習指導者、当該実習場所の看護管理者、実習の担当教員で客観的な評価を行っている。 <p>2. 単位の認定、卒業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の認定は、学生便覧に記載している学則・学則細則に単位認定基準を掲載している。3年次は1月、1・2年次は2月に学校運営会議を開催し、単位の認定を行い、単位の修得状況について学生に通知している。 ・卒業は学則・学則細則に卒業の要件、判定について定め、1月の学校運営会議において卒業の認定を行っている
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1. 進級要件</p> <p>各学年における履修については、学則細則第15条、各学年の履修は教育計画に基づき行い、実施された全科目の認定を受けなければならない。ただし各号に該当する者は原級に留まる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各学年次実施された全科目の認定のうち、認定されていない科目が3科目以上の者 2) 欠席日数が各学年の出席すべき日数の3分の1を越える者 3) 当該年度の再実習が3科目以上の者 <p>2. 卒業要件</p> <p>学則第25条に則り、学校長は、学則第18条に定める全ての授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。また、卒業認定に関しては、学則細則第16条に則り、次の各号の全てを満たす場合に認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本学校の定める授業科目、単位数を履修した者 2) 授業科目（臨地実習含む）の各々の単位を認定された者 3) 修業年限3年、または在学年限内の者 4) 出席日数が授業日数の3分の2以上の者
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学時の新入生ガイダンス ・全学年に担任教員による年2回程度の個人面接、進路相談の実施 ・成績低迷者や希望者に対する学習支援 ・看護師国家試験対策として各学年にガイダンスを実施 <ol style="list-style-type: none"> 1年次（学習方法について） 2年次（低学年模擬試験、国家試験対策学習会） 3年次（模擬試験1回／2カ月程度、個別学習支援） ・スクールカウンセラーによるカウンセリングを1回／週実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
84人 (100%)	1人 (1.2%)	78人 (92.9%)	5人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 看護師（独立行政法人国立病院機構岩国医療センター、独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター、徳山中央病院など）			
(就職指導内容) 就職先情報提供、願書記載、キャリア形成面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
224人	3人	1.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング（1回/週） 担任制の導入・適宜面接の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000 円	550,000 円	20,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://iwakuni.hosp.go.jp/files/000232415.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>①教員による、自己点検自己評価(「教育理念・教育目的」「教育目標」「研究」など)結果について、前年度と比較分析する</p> <p>②学生による学校評価(「教育方針」「管理運営」など)を前年度と比較検討する</p> <p>③国立病院機構附属看護師養成所間の相互評価を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～③について、学校関係者評価委員会に報告し、評価を受けその結果を学校運営に活用する。 ・学校関係者評価委員会は次の区分から学校長が委嘱する委員により構成し、毎年5月に委員会を開催する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理者 2. 教育に知見のある者 3. 卒業生 4. PTA 5. その他学校長が必要と認めるもの ・委員会における評価結果は、報告書としてまとめ、学校運営会議にて報告後、ホームページにて公表を行っている。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NHO 岩国医療センター 看護部長	2025. 4. 1～2026. 3. 31	看護管理者
岩国 YMCA 看護専門学校 学校長	2025. 4. 1～2026. 3. 31	教育に知見のある者
NHO 岩国医療センター 看護師	2025. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
在校生の保護者	2025. 4. 1～2026. 3. 31	PTA
西京銀行岩国支店岩国地区統括部長	2025. 4. 1～2026. 3. 31	学校長が必要と認めるもの
新陽運送(有) 代表取締役	2025. 4. 1～2026. 3. 31	学校長が必要と認めるもの
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://iwakuni.hosp.go.jp/files/000235887.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校沿革 (<https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/e-policy.html>)

校舎概要 (<https://iwakuni.hosp.go.jp/kango/envi.html>)